

「労働講座企画委員会寄附講座・未来の自分をつかめ～OB・OGの働き方とおして考える」4.19レジュメ

【略歴】

2011年3月 明治大学経営学部卒（27歳）

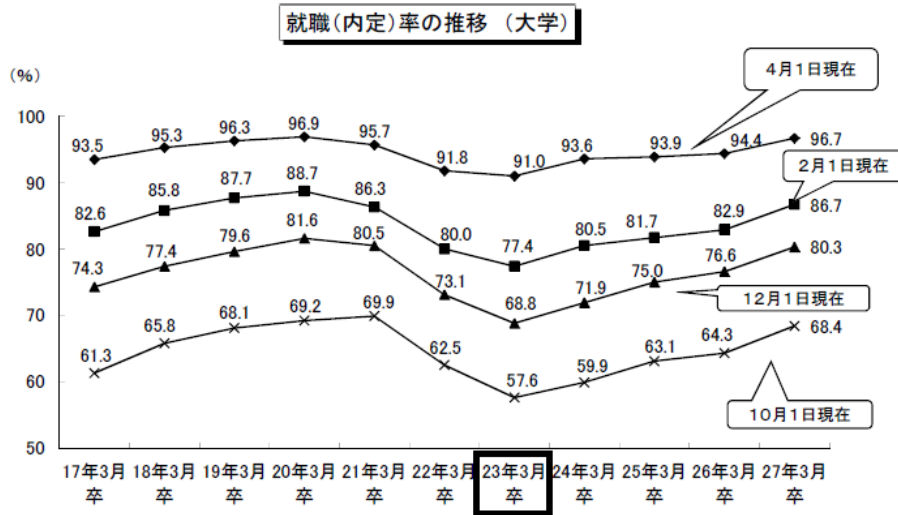
アパレル・メーカーと塾講師をへて、2015年4月から団体職員

1. わたしの就活

2011卒の世代。2009年（大学3年）12月から就活開始

☆企業選びの軸と当時の就活

2010年（大学4年）8月にドレス・メーカーに内定



厚労省「大学等卒業者の就職状況調査」

10月で4割以上内定が無い世代

新卒採用計画の推移

※数字は企業数

年	増やす		前年並み		減らす		未定など
	増やす	減らす	増やす	減らす	増やす	減らす	
17年春計画	21	11	49	19	11	19	
16年	44	11	41	14	11	14	
15年	31	10	45	14	10	14	
14年	15	15	46	24	15	24	
13年	20	15	39	26	15	26	
12年	27	9	41	23	9	23	
11年	17	17	42	24	17	24	

就活が過酷だったこともあり、今日の話は必要以上に過酷な話になると思います。皆さんの代はもう大丈夫なはずなので、安心して聞いてくださいね！

☆面接時の自己アピールの仕方

(1) 一貫性

失敗体験：書類の上で「自己PR」「動機」「学生時代がんばったこと」の一貫性を持たせて自己PRする（本に載っていたのがここまで）

成功体験：「印象」「経歴（部活等も含む）」も含めての一貫性を持たせる

(2) 結果だけでなくプロセス・人柄を見ている

失敗体験：スペックのすごさでPRする。

「ゼミ長・特待生・サークル全国大会・ボランティア」

成功体験：何を考え、どんな行動をしたかのプロセス・人柄部分でPRする。

「親のために責任感を持ってコツコツがんばって特待維持しました」

※スゴイ経験である必要はない。

2. わたしの職場

2011年10月にドレス・メーカーを退職

☆その理由：一言で言うと「ミスマッチ」

- ・「やりがいがないまま一生働くのが無理だと思ってしまった」
- ・ブラック企業ではなかったのに、続ければ良かった（2年後に後悔）

☆転職活動について

- ・第2新卒なので異業種OKだが・・・
- ・新卒より選択肢は減る
- ・次の転職先は辞める前を見つけること

☆2012年4月に塾講師のアルバイトをスタート→適正アリ、やりがいアリ。

2014年4月に塾で正社員登用

☆ブラック企業の過酷な労働実態

定時 am12:50～pm9:50 はまず守られない。残業代は固定、早出して終電を過ぎても帰れず妻とのすれ違い生活。

【参考】入社前に聞いていた情報（社員に聞いた話と求人情報）と実態

休憩 60 分あり→

週休 2 日制→

どんなに遅くとも必ず 23 時には出るルールあり→

離職率は数%！→

女性も活躍中！説明会に来て説明！→

家族等の誕生日に休める「パートナーズホリデー」、1 年に 1 回、2 泊 3 日旅行用の休みが

取れる「リフレッシュジャーニー休暇」→

お盆と正月には休める→

育休取得率 90%！→

初任給 24 万！→

諸手当：住宅手当 2 万、通勤交通費 8500 円→

社員アンケートで自由に異動可能！8 割の人の希望が実現しています！→

オープンで言い合える雰囲気のため、改善案が毎週 1000 件！→

匿名社員アンケートで満足度 97%！→

社員に長く働いてほしいと考えている会社です→

2014 年 9 月に勤続しながら転職活動をスタート→2015 年 4 月に転職

3. 学生へのアドバイス

☆ブラック企業の見分け方

【検証】一般的に言われるブラック判別法（通用しなかった方法たち・・・編）

・夜遅くに電気がついているか見る→

・職場の雰囲気を見る→

・求職者「従業員数に対し採用数が多い」→企業「業績好調で事業拡大のため大募集！」

→良い会社に見えるが・・・。

・企業「辞めた人はどうしてもな理由だけ」→

・検索で会社名を入れるとブラックと出る→

・口コミサイトを見る→見方次第。次ページに詳細

【口コミサイトを使ったブラック企業の見抜き方】

口コミサイト→×：新卒向け、文章だけのサイト、主観の数値

○：働いていた人が書いた、事実の数値

例) Vorkers、キャリアコネ等

月間残業時間：80時間を超えていたらアウト（俗に言う過労死ライン）

※前職ブラックで100時間と記載

1ヶ月での申請しない平均休日出勤日数：本来なら1日でもある時点で×。

※前職ブラック7日と記載

1日の労働時間：8~9時間ホワイト

※前職ブラック11時間以上と記載

【検証】ブラック企業の見分け方（経験上、通用したもの編）

- ・ 口コミサイトで数値を見る（前述）
 - ・ 人事の目の下のクマを見る
 - ・ 「残業何時間？」と聞けないので「就職後の生活をイメージしたいので、朝起きてから帰って寝るまで、1日の流れを教えてください」
- 仕事後にフットサル等：フットサルやる元気と時間が残る。
- 帰ってすぐ寝てる：ヤバイ。仕事で元気が残らない、帰ったらもう寝る時間
- ・ 労働組合があるか？（連合ホームページの下記バナーで検索）



→1 社目ドレス：ミスマッチのみで、労働条件は悪くなかった（組合あり）。

2 社目塾：組合なし、ブラック無法地帯

→有休取得率：組合有り 6割台、組合有無関わらずの調査 4割台など、労働条件の実態でも差。労働組合があるだけでかなり違う。

- ・ 法令遵守意識が高い＝労働法も守る、経営者がマトモ

【若者雇用促進法】

この3月からだが、残念ながら努力義務の法律。だが、求人に下記内容を記載している企業は法令遵守意識が高い（努力義務もちゃんと守る）＝ホワイトの可能性

●募集や採用に関する状況

- 1 過去3年間の新卒採用者数・離職者数
- 2 過去3年間の新卒採用者数の男女別人数
- 3 平均勤続年数

●職業能力の開発・向上に関する状況

- 1 研修の有無及び内容
- 2 自己啓発支援の有無及び内容
- 3 メンター制度の有無
- 4 キャリア・コンサルティング制度の有無及び内容
- 5 社内検定等の制度の有無及び内容

●企業における雇用管理に関する状況

- 1 前年度の月平均所定外労働時間の実績
- 2 前年度の有給休暇の平均取得日数
- 3 前年度の育児休業取得対象者数・男女別の取得者数
- 4 役員および管理的に地位にある者に占める女性割合

●定額で支払われる割増賃金に係る計算方法、固定残業代を除外した基本給の額、固定残業時間を超える時間外労働、休日労働及び深夜労働分についての割増賃金を追加で支払うことを明示

【困ったら（仕事を辞めたくになったら）】

- ・「会社に原因があるのか」「学生と社会人のギャップなのか」を冷静に判断
- ・「やりがい」→「仕事にやりがいを感じない」は誰しも通る道。よく言う「3年続ける」「身の危険」→「3年続ける」が通用しない
- ・労働相談

自分の身を守るには知識から！